

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
高齢者に対する支援と介護保険制度 I Support for the aged person and support system for care insurance system I		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(社会福祉士国家試験受験資格取得 必修 社会福祉主事任用資格に係る科目)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
中島 佳子	栄養棟3階	月曜～木曜授業以外の時間		授業中に指示します
授業の概要				
<p>「高齢者に対する支援と介護保険制度 I」では、高齢者の身体的・精神的変化を学習し、高齢者を一人の人間として理解する。 また、我が国の高齢者福祉制度の発展を理解し、法規の成り立ち、特に介護保険制度の仕組みとサービスの提供方法について学ぶ。</p>				
授業の目標				
<p>①高齢者の社会的定義を説明できるようにする。 ②高齢期の身体的・精神的変化及び特徴を述べるようにする。 ③高齢者保健福祉の発展過程について述べるようにする。 ④高齢者支援の関係法規を列挙し、その特徴を述べるようにする。 ⑤介護保険制度の目的と手続きを説明し、サービスの種類を列挙できるようにする。</p>				
授業の方法				
<p>視聴覚教材と配布資料を使った講義形式で行う。 毎回、授業理解と知識の定着を確認するための小レポートを課す。</p>				
学習の成果（学習成果）				
<p>高齢者の特性を理解し、高齢者を取りまく社会情勢の変化、現在の福祉・介護需要（法制度含む）について説明できる。</p>				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（授業の目標と進め方、成績評価の説明、諸注意等）、高齢者の社会的理解			
第2回目	我が国の高齢社会の現状と動向・課題			
第3回目	少子高齢社会の現状と動向・課題			
第4回目	高齢者の心身の特性（高齢者の身体的理解、精神的理解、総合的理解）			
第5回目	高齢者福祉制度の発展過程①			
第6回目	高齢者福祉制度の発展過程②			

第7回目	高齢者支援の関係法規（老人福祉法、高齢者の医療の確保に関する法律）	
第8回目	高齢者支援の関係法規（高齢者虐待防止法、他関係法規）	
第9回目	介護保険制度① 課題「私の地域の介護保険制度」提出：第14回目	
第10回目	介護保険制度②	
第11回目	介護保険制度③	
第12回目	介護保険制度④ 課題「私の地域の介護保険制度」提出	
第13回目	高齢者支援の方法と実際①	
第14回目	高齢者支援の方法と実際②	
第15回目	高齢者支援の課題	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	以下の視点で判断する。履修上の留意点を遵守し、遅刻なく準備を整え授業に臨み、必要なことはノートを取り、学んでいること。周りに迷惑をかけるような態度は、減点対象とする。
レポート	10%	評価は、居住地の介護保険制度について調べまとめられていること。授業で学んだことを用いながら、自分なりの考えが述べられていること。要項に従って作成され締切までに提出されること。
調査報告書		
小テスト		
試験	70%	○×形式、穴埋め、記述式で出題し、知識及び内容の理解を確認する。
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
『社会福祉士シリーズ 高齢者に対する支援と介護保険制度』 弘文堂		
履修上の留意点・ルール		
私語、携帯電話の使用を禁止します。授業に関係のないもの（携帯電話、食べ物、飲み物、化粧品、手帳）はかばんにしまうこと。 配布資料のデジタル化禁止。他者に迷惑をかける行為があった場合は、退出させることがあります。		